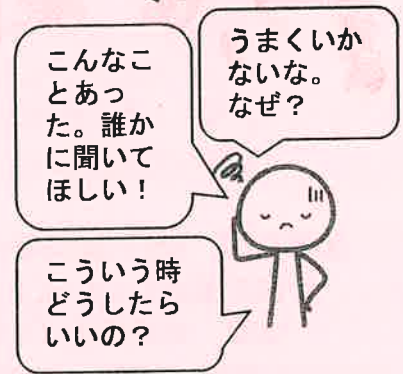


一緒に！ 2022年度いろいろ講座スタートです オンライン

こんにちは。青森県教組・高教組です。新年度がスタートし、毎日目が回る忙しさでしょう。元気な子どもたちと向き合うためにも休養はしっかりとって、体と心を休めてくださいね。

さてコロナ感染症がなかなか収まりません。本当は顔を突き合わせてああでもないこうでもない和学习したいところですが、できない状況です。そこで今年度も平日夜の『いろいろ講座』を実施します。オンラインなので県内どこからでも参加できます。ぎりぎり帰って、ご飯を食べながらでも参加可能です。ちょっとうれしいことがあったとき、ちょっと苦しいことがあったとき…誰かとつながってほしいことってありますよね。



思いを吐き出したり、ヒントをもらったり、みんなで分かち合ったりして、とにかく元気が出ればいいなと考えています。5～6月の日程をお知らせします。毎月第2第4水曜日の講座の日は学校をいつもより少し早く出て、リラックスして学習することをルーティーンにしませんか。ぜひ参加してください。一緒に学べるのを楽しみにしています。

講座の予定

① 5/11 (水) 20:00～21:30

「教職員の過労死等をなくすために～幸せになるための労働を～」

工藤 祥子氏 (神奈川過労死等を考える家族の会代表 厚労省過労死防止対策推進協議会メンバー 元小学校教諭)

- ・2007年中学校教師だった配偶者を過労死で亡くされました。現在のご自身の経験から、過労死の観点で教師の働き方改革に取り組んでおられます。また、厚労省主催のシンポジウムや学生にワークルールの啓発授業などを行っています。文科省や厚労省が掲げる働き方改革の目的と先生方の実際の働き方がいかにかけ離れたものであるか。先生方は子どもたちにとって働き方のお手本となっているか。今の働き方は幸せになるための働き方か。などご自身の経験からお話をさせていただきます。

② 5/25 (水) 20:00～21:30

「発達障害・愛着障害の子どもが二次障害を起こさないためにできること」

松本 敏治氏 (公認心理師 臨床発達心理士 ガジュマルつがる代表)

- ・『自閉症は津軽弁を話さない』の著書が今とても注目されている松本先生は、現在平川市で「ガジュマルつがる」を主宰するほか、講演活動やスクールカウンセラー、相談活動など多岐にわたって活躍されています。発達に凸凹がある児童生徒を二次障害に陥らせないために、私たち教職員ができることを考えていきます。また愛着障害についてもお話を聞きます。

裏に続く

③ 6/8 (水) 20:00~21:30

「地域を学ぶ総合的な学習の時間」

小泉 真先生 (田子町立清水頭小学校教諭)

- ・総合的な学習の時間が本格的に実施されて20年目になりました。教科書がないこの学習は、「探究的」というキーワードがありますが、具体的な学習メニューは示されていません。それでは、明日のこの学習の時間に、子どもたちに何を学ばせるために何を準備したらいいのでしょうか？講座参加者のみなさんと、県内で行われている総合的な学習の時間のメニューについて情報交換しあいましょう。

④ 6/22 (水) 20:00~21:30

「ICT教育について」(予定)

本間 史祥先生 (中学校教員 子どものネットリスク教育研究会青森支部代表)

- ・詳細は後日ホームページで。

ここまで読んで参加してみよう!と思った方へ

- *参加したい回だけの参加OK。
- *参加費は無料(Zoomの準備は各自で)

申し込み メール aomoritu@iaa.itkeeper.ne.jp
FAX 017-777-1440

下記を記入の上申し込んでください。1度の申し込みで1年間有効です。

氏名・学校名・メールアドレス (ID お知らせのため)
電話番号 (急な変更や接続トラブル連絡のため)

※個人情報学習会以外のことには使用いたしません。



年齢も職種も関係なく、遠慮しないで弱音を吐いたり、いいところを盗み取ったりできる学習会を、参加するみんなと一緒に作っていきましょう。

2022年4月

青森県教職員組合